

都市再生整備計画(第3回変更)

とうかいしせいぶ なんぶちく
東海市西部・南部地区

あいちけん とうかいし
愛知県 東海市

平成20年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	東海市	地区名	東海市西部 南部地区	面積	750 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標 地区の住民が自ら公園計画や緑地づくりに参加することにより、環境への意識の向上を目指す。また、これらの公園や緑地と既存の公園を一体的に考え、途中の道路を安全に歩けるよう改良を加えることにより公園緑地のネットワークをつくる。あわせて、歴史的遺産を施設整備しこの公園緑地のネットワークとともに観光客を呼べるまちを目指す。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>本市は昭和30年代に始まった臨海部の埋め立てにより、主に鉄鋼関連の大企業の立地が進み中部圏最大の鉄鋼基地を有する工業都市として発展を遂げました。それに伴い昭和40年代には急激な人口の増加を受け入れるため、内陸部丘陵地の宅地開発が進み人口は増加したものの丘陵地の緑は失われてきました。しかし近年ではこのような住宅地や、古くから残る既存市街地での人口の空洞化、高齢化が進んできています。歴史的には弥生時代に人が住み着いた遺跡や知多半島最大級の横穴式石室を持つ古墳、知多半島に残る112台の山車のうち9台が本市に伝承されているなど歴史的遺産もたくさん残りますが、急激な人口増加にともない市内の歴史が忘れ去られてきました。</p> <p>本市西側臨海部をはしる西知多産業道路は2005年開港予定の中部国際空港と名古屋市を直線で結ぶ位置にあることからアクセス道路として有力な道路と考えられています。しかし、道路沿は殺風景でゴミの投棄も多く、決して空港へ向かう観光客を迎え入れる状況とは言えません。</p> <p>市制35周年と空港開港を機に市民、行政、企業が一体となり失われた緑の回復とともに、身近な公園や、歴史的遺跡を残すための公園づくりをおこない、また合わせて周辺道路の美化事業をおこなう事により魅力あるまちづくりをし、観光客も呼べるようにしたいという機運が高まっています。</p>
課題 かつては自然豊かな土地であったため、緑はすくには無くならないと思い、市民意識の中に緑に対する大切さや保全の考えよりも、開発による便利さを求める意識の方が高くなっている。市民自ら苗木を植え、木を育て、緑の大切さを認識し住環境を保全する意識を高めることが課題となっている。 用地が確保されているが未整備の都市計画公園(街区公園等)が区域の中に5ヶ所ある。これらを市民と一緒に計画し、つくることにより、公園が市民のためにあることを認識してもらうためにも、早期の整備が課題となっている。 市域北部には緩衝緑地としての緑地が保全されているが、南部には緩衝緑地がありません。宅地開発等で失われた緑地を同じ場所で回復することは不可能ですが、市の西側臨海部の工業地帯と住宅地の間に緑地をつくり、当地区の環境を保全することが課題となっている。 急激な人口増加とともに忘れ去られた歴史的遺産を、市民だけではなく市外の人々にも見て知っていただくための施設整備が課題となっている。
将来ビジョン(中長期) 平成16年度から平成25年度の第5次東海市総合計画の中で、花と緑の豊かなまちをつくるという施策があります。この中で市民一人あたりの公園面積を現状値9.31㎡/人から10年後のめざす値を10.0㎡/、市民一人あたりの緑地面積を現状値86.83㎡/人から10年後のめざす値を90.0㎡/人としています。同様にまちの公園街路樹などに満足している市民の割合を現状値53.3%を10年後のめざす値65%、緑などの自然環境などに満足している市民の割合を現状値48.0%を60%に上げるよう設定しています。 このめざす値をクリアするため、用地が確保されているが未整備の街区公園(都市計画決定済み)を年に1公園ずつ順次整備していく予定です。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
一人あたりの都市公園面積	㎡/人	基準日における都市公園の供用面積割る人口	都市公園を整備することにより一人あたりの公園面積が増える	9.31㎡/人	平成16年度	9.91㎡/人	平成20年度
一人あたりの緑地面積	㎡/人	基準日における市内の緑地面積割る人口	緑地を回復することにより一人あたりの緑地面積が増える	86.83㎡/人	平成16年度	88.80㎡/人	平成20年度
公園緑地に対する市民の満足度	%	アンケート調査により回答数のうち満足している人の割合	公園緑地に対する満足度が増せば、緑の有る良好な居住環境と言える	53.3%	平成16年度	60.0%	平成20年度
安全、安心と思える歩道がある割合	%	歩道付道路のうち安全対策が取れている道路の割合	歩道付道路が安全対策が取れていれば、良好な居住環境と言える	52.4%	平成16年度	55.5%	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・本地区内にある未整備の都市公園を市民の意見を聞きながら全て整備することにより、市民一人一人の公園に対する意識の向上を図るとともに、公園のネットワークを造る。また、本地区内にある遺跡を公園として整備することにより、東海市の歴史に対する意識の向上を図る。 ネットワーク上の道路において、交通量の多い箇所は歩道を設置したり段差を解消し、誰もが安心して歩けるようにする。</p>	<p>公園の整備、道路改良事業</p>
<p>・宅地開発等で失われてきた緑地を、臨海部及び学校周辺に市民の手により復活させ、緑地に対する意識の向上を図るとともに、工業地帯や交通量の多い道路から住宅地等市街地の環境を守るための環境保全林を整備する。</p>	<p>環境保全林整備、森のシンポジウム</p>
<p>・中部国際空港と名古屋市を直線で結ぶアクセス道路として有力と考えられている西知多産業道路の環境美化事業を実施し、観光客を気持ちよく迎え入れ、また遺跡公園等を整備することにより観光客もよべるまちとしていきたい。</p>	<p>産業道路美化事業</p>
<p>その他 ・公園や緑地の整備段階から住民に参加していただき、整備後も自分たちがつくった公園や緑地という意識の中から、日常の維持管理、清掃等は住民に行ってもらおうと計画しています。</p>	

< 都市再生整備計画の整備方針等 >

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,046	交付限度額	418	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	参考事業期間		交付期間内事業期間		参考全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路	市道横須賀駅前道1線	東海市	直	640m	H16	H16	H16	H16	5.0	5.0	5.0		5.0	
	市道元浜線	東海市	直	850m	H16	H16	H16	H16	4.5	4.5	4.5		4.5	
	市道加木屋大池線	東海市	直	150m	H16	H18	H16	H18	55.0	55.0	55.0		55.0	
	市道川南新田堤線	東海市	直	100m	H18	H19	H18	H20	43.2	43.2	43.2		43.2	
	市道東海6号線	東海市	直	110m	H18	H18	H18	H18	12.4	12.4	12.4		12.4	
	公園	天神下公園	東海市	直	0.19ha	H17	H17	H17	H17	30.0	30.0	30.0		30.0
		西ノ丁公園	東海市	直	0.20ha	H18	H18	H18	H18	27.0	27.0	27.0		27.0
		社宮司公園	東海市	直	0.15ha	H19	H19	H19	H19	20.5	20.5	20.5		20.5
		大塚公園	東海市	直	0.10ha	H16	H16	H16	H16	7.0	7.0	7.0		7.0
		加木屋南公園	東海市	直	0.4ha	H16	H17	H16	H17	59.3	59.3	59.3		59.3
加家緑道		東海市	直	0.5ha	H17	H20	H17	H20	69.0	69.0	69.0		69.0	
横須賀緑道		東海市	直	0.3ha	H16	H16	H16	H16	29.7	29.7	29.7		29.7	
柳ヶ坪史跡整備		東海市	直	0.1ha	H19	H25			0.0	0.0	0.0		0.0	
岩屋口史跡公園		東海市	直	0.18ha	H19	H25			0.0	0.0	0.0		0.0	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム	-													
地域生活基盤施設	-	東海市	直	-	H16	H20	H16	H20	516.4	516.4	516.4		516.4	
高質空間形成施設	-													
高次都市施設	-													
既存建造物活用事業	-													
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									879.0	879.0	879.0	0.0	879.0	
提案事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	参考事業期間		交付期間内事業期間		参考全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	公園用地創造事業	加家緑道	東海市	直	1棟	H16	H16	H16	H16	9.7	9.7	9.7		9.7
	道路事業(踏切改良負担金)	市道加木屋大池線	東海市	直	1箇所	H18	H18	H18	H18	116.8	116.8	116.8		116.8
事業活用調査	環境保全林基本構想	-	東海市	直	-	H17	H17	H17	H17	4.8	4.8	4.8		4.8
	事業評価調査	-	東海市	直	-	H19	H20	H19	H20	2.9	2.9	2.9		2.9
まちづくり活動推進事業	産業道路美化事業	-	東海市	直	-	H17	H18	H17	H18	23.6	23.6	23.6		23.6
	街区公園計画ワークショップ	-	東海市	直	-	H17	H17	H17	H17	1.8	1.8	1.8		1.8
	森づくりシンポジウム	-	東海市	直	-	H16	H16	H16	H16	7.6	7.6	7.6		7.6
合計									167.2	167.2	167.2	0	167.2	
													合計(A+B)	1,046

東海市西部・南部地区

面積

750ha

区域

東海町、大田町、横須賀町、養父町、高横須賀町、加木屋町の一部

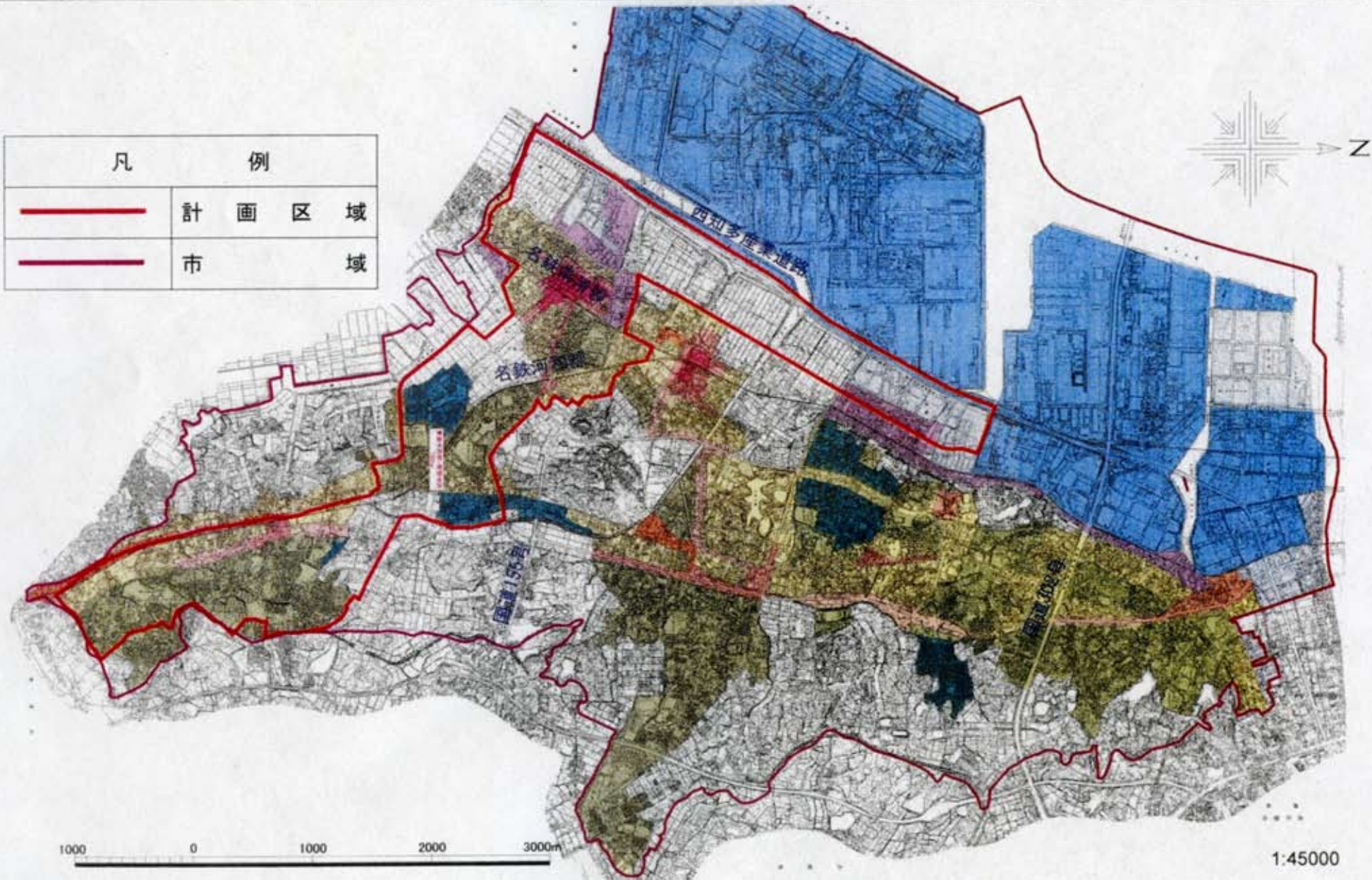
凡 例



計 画 区 域



市 域



1000 0 1000 2000 3000m

1:45000

東海市西部・南部地区(愛知県東海市) 整備方針概要図

目標	緑と文化を感じられる良好な住環境の形成	代表的な指標	一人あたりの都市公園面積 (㎡/人)	9.31	(16年度)	→	9.91	(20年度)
			公園緑地に対する市民の満足度 (%)	53.3	(16年度)	→	60.0	(20年度)
			安全、安心と思える歩道がある割合 (%)	52.4	(16年度)	→	55.5	(20年度)

凡 例	
—	計 画 区 域
—	市 域
●	公園事業予定箇所
●	緑地事業予定箇所
—	道路事業予定箇所
—	美化活動予定箇所
○	関 連 事 業
○	既 設 公 園 等

